

## 【施設状況】

グループ名称	もんぜんぷら座こども広場（じゃん・けん・ぽん）										
指定管理者名	特定非営利活動法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト					法人番号	6100005002075				
所管課	主	117000	保育・幼稚園課	副							
構成施設	もんぜんぷら座こども広場（じゃん・けん・ぽん）										
施設分類	06	保健福祉2型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	01	代行制	
施設概要	床面積860㎡ 遊び場、活動室、相談室、会議室、おひるね室、授乳室、おむつ替えコーナー、こどもトイレ、親子トイレ受付、事務室										
施設設置目的	乳児及び幼児とその親の子育てに対する悩みや不安を解消し、もってそれらの者の福祉の増進に資するため、子育て支援の拠点施設として設置する。										
基本方針等	指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを利用者に提供するとともに、地域に根ざした施設となることを目指す。										
主な実施事業	①子育て中の親とこどもの交流に関する事業 ②子育てに関する相談 ③子育てに関する情報提供 ④あそびに関する指導及び助言 ⑤その他子育ての支援に関すること										

## 【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

## 【評価項目】

## 1 指定管理者の健全性

指定管理者名	特定非営利活動法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト				指定回数	3 回	
指定期間	平成24年4月1日	～	平成29年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日	
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。						評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)						4

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H24	H25	H26	H27	対前年比	評価
	入場者	人	54,570	52,408	47,990	49,239	103%	
							#####	
							#####	
							#####	
							#####	
							#####	
	(特記事項)							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て中の親とこどもの交流に関する事業</li> <li>子育てに関する相談</li> <li>子育てグループ等の育成</li> <li>子育てに関する情報の提供</li> <li>あそびに関する指導及び助言</li> <li>子育て情報誌の発行</li> <li>子育て講座、イベントの開催</li> <li>その他子育て支援に関する業務</li> </ul>						
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>「子育て中のお母さんのためのリフレッシュ講座」日頃、子どもの世話に追われている母親を対象に、託児付きの講座を開催し、新たな気持ちで子どもに向かうことができるよう、リフレッシュできる時間を提供する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生以上の生徒・学生を対象に「じゃん・けん・ぼん夏休みボランティア体験プログラム」を実施し、乳幼児とふれあう機会を通し、将来を見通したライフプランができるよう支援する。</li> </ul>					
サービス維持・向上の取組み (広報等)	ホームページでの詳しい案内、ブログで毎日の活動を紹介した。facebookを立ち上げ、情報の発信の機会を多くした。子育て情報誌「じゃんけんぼん」を発行した。週刊長野への情報提供をした(じゃん・けん・ぼん便り「子どもも親もいきいき」として月1回子育て・子育て支援の情報を提供)。手洗いの徹底や、施設の清掃、遊具の消毒により、感染症予防対策を行っている。施設の点検・修繕により、常日頃から子育て中の親子が安心して利用できる環境を整えている。							

5

3 利用者評価

区分	内容		評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート	4
		(2) 調査、会議等の内容 利用者アンケート調査・・・平成27年10月末～11月初旬(200名) 利用者会議等・・・サークル活動責任者会議(H28.3.11) 講座等・・・終了後一人ひとりから感想・要望等を把握した。(ねんねの会(2ヵ月から寝返り前の乳児と母親を対象とする講座)、NP講座(親が自分の長所に気づき、子どもを育てるための前向きな方法を体験を通して学ぶ講座)、リフレッシュ講座(保護者の要望を聞き託児付きで講座を行い、リフレッシュの機会とする)、利用者の声)	
利用者からの評価・要望・苦情等	利用者からの評価	(3) 調査、会議等の結果 利用者アンケート調査・・・スタッフの対応、広く安心・安全な環境として満足している声が多かった。 利用者会議・・・子ども達を遊ばせながら母親同士ゆっくり話ができる場所でありがたい。 スタッフが笑顔で話しかけやすい、話を聞いてもらってうれしい。 講座等・・・出産以来、子どもと初めての外出で同じ月齢の子のお母さんたちと話せてよかった。安心した。 病院で相談する程度のことだけでなく話せたり、他のお母さんの悩みも聞けて参考になる。 転居してきたが、ねんねの会に出会えてよかった。ボランティアの少し月齢が先の子が子育ての参考。 頑張っているお母さんの姿を見て、自分もがんばらなければ!と思った。 などの声が寄せられ、また、講座の内容に満足している声が多かった。	4
		(1) 良好とする評価 ・アンケート調査結果:じゃんけんぼん利用者の94%がスタッフの対応に満足していた。自由記述により、「いつも笑顔で気持ちよく接してくれる」「話しかけられてうれしい」、「話を聞いてもらえてうれしかった」、「スタッフが皆笑顔で対応してくれ、じゃんけんぼんに来ると元気になりリフレッシュできる」、「困った時にすぐに手を貸してくれる。」との声が寄せられ、スタッフの話しかけや見守りに対して快く感じている様子が分かった。また、「子どもも親も安心できる環境を提供してくれる」等環境づくりへの配慮等にも満足の声が聞かれた。利用目的として安全な環境、広いスペース、おもちゃが豊富、使用料無料と答えている人が多かった。 (2) 苦情・改善等の要望事項 アンケート調査では改善点として ・「駐車場」をあげている人が52%。一方、「他者とのトラブル」3%の回答やその他として「子どもを見ていない親が気になる」など他の保護者の利用の仕方について課題がみられた。 ・通院、買い物等短時間の「託児」や、「託児付き講座」の要望が多かった。 ≪対応措置≫ ・駐車場については、施設からの距離と割引時間の関係等について、随時保育・幼稚園課に伝えた。 ・利用者同士のトラブルについては、その都度スタッフが間に入り双方の状況の聞き取りをし、対応している。また、投書箱を設け、一人ひとりの投書に返答している。 ・託児については、NP講座(無料)、リフレッシュ講座等(一部負担)は託児付きにし、講座に集中できる環境を提供している。個別への対応については、ファミリーサポートの利用を勧めている。	

	指定管理者収支（平成27年度）				市の収支				評価	
	年度計画額		収支実績額		平成27年度決算		平成26年度決算（前年度）			
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額		
事業収支 (単位：円)	収入	利用料金	78,000	利用料金	106,095	歳入	使用料		使用料	
		指定管理料	15,000,000	指定管理料	14,915,000		雑(納付金)		雑(納付金)	
		委託料		委託料			行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料	
		販売収入等		販売収入等	54,960		その他		その他	
		その他収入	320,000	その他収入	76,074		国・県補助金	6,114,000	国・県補助金	6,114,000
	計	15,398,000	計	15,152,129	計	6,114,000	計	6,114,000		
	支出	人件費	11,275,000	人件費	11,747,190	歳出	指定管理料	14,915,000	指定管理料	14,915,000
		設備管理費	134,000	設備管理費	6,626		委託料		委託料	
		備品購入費	222,000	備品購入費	121,483		需用費		需用費	
		修繕費	103,000	修繕費	98,792		役務費		役務費	
光熱水費			光熱水費		使用料・賃借料			使用料・賃借料		
事業費		1,720,000	事業費	1,573,294	修繕費			修繕費		
事務経費		679,000	事務経費	470,750	工事請負費		691,200	工事請負費		
本社経費			本社経費		備品購入費		104,760	備品購入費		
その他	1,265,000	その他	1,080,456	その他		その他				
計	15,398,000	計	15,098,591	計	15,710,960	計	14,915,000			
自主事業	収入		収入	94,650						
	支出		支出	85,150						
	自主事業損益	0	自主事業損益	9,500						
損益		0		63,038	差引	-9,596,960		-8,801,000		
人件費比率【人件費(賃金等)／平成27年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									77.8%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由										

4

5 管理運営全般 ※ すべて  で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 運営責任者1人(1)、副責任者2人(2)、チーフスタッフ5人(5)、スタッフ9人(9)、合計17人(17)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/>
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携		評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。また、市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。		4
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の組織へ参画連携し、市街地活性化につながるようイベント、行事へ参加。</li> <li>・わんぱく散髪講座、リフレッシュ講座等地元商店街の方々との共催イベントを積極的に行う。</li> <li>・シニアアクティブルーム（高齢者学級）と連携し、活動（折り紙教室、手話で歌おう会）等世代間交流を行う。</li> <li>・ボランティアの育成や活動の場の提供を積極的に行い、地域の方々と共に運営を行う。</li> <li>・地域子育て支援センターとの交流（おたより等の情報交換）</li> <li>・信州大学教育学部、清泉女学院短期大学、長野県短期大学等と研究・実習の場として連携し、その研究内容等広場運営に活用する。</li> <li>・長野県短期大学幼児教育学科山口ゼミとは、もちこ広場を共催で行う。</li> <li>・中学校、高等学校の職場体験、インターシップ等の受け入れ。</li> <li>・長野看護専門学校臨地実習を受け入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三地区子育てサロン「サンサンひろば」（11回）、第二地区「はじめの一歩サロン」（5回）、浅川アップルキッズ（4回）にスタッフを派遣し、遊び、運営等の支援をした。</li> <li>・地域連携・善光寺花回廊、七夕まつり、灯明まつり、権堂キッズフェスティバル等へ参加</li> <li>・中学生以上の生徒・学生を対象に「じゃん・けん・ぼんでボランティア」を開催</li> <li>・公民館や幼稚園、シルバー人材センターなどへの出前講座</li> <li>・他団体との連携・ハピスポひろばへの参加</li> </ul>	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	4	8	合計得点 <b>80</b>	
施設の有効活用	5	20		
利用者評価	4	16		
事業収支	4	8		
管理運営全般	4	8		
危機管理体制	3	12		
地域連携	4	8		
評価理由	<p>・年々利用者数が減少していたが、今年度は、ホームページ、ブログの配信、facebookの立ち上げにより情報が行き渡り、利用者数を増加している。こども広場の広報活動及び安定した事業実績などの効果、利用者十分に認知されて親子の遊びと交流の場所として評価を得ている。</p> <p>・継続的な企画等も実施して評価されており、マタニティセミナー、プレネイルタルミーティング、ねんねの会を行い、各専門の先生方に説明を受け妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援も評価できる。また、高校、専門学校、短期大学といった教育機関と連携し事業内容の充実を図るとともに、スタッフ研修や話し合い等の実施により、スタッフの資質向上を常に意識し、質の高い運営をしている。</p>			
取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等（改善されていない場合）	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの受け入れや教育機関との連携により、一層安心して利用できる施設とする。</li> <li>・親の「エンパワメント（自己決定力）」を高める講座を継続して行う。</li> <li>・施設利用者の増加を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方のボランティア、生徒・学生のボランティアを積極的に受け入れると共に、教育機関と連携し遊びの内容や環境づくりに配慮した。</li> <li>・NP講座、ねんねの会の内容を充実させ開催した。ねんねの会は出産後初めて社会参加する機会となり、親のエンパワメントの向上には有効な機会となっている。</li> <li>・フェイスブックの開設、ホームページ等により情報の提供を積極的に行い、利用者増につながった。</li> </ul>		
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転居してきたばかりの家族は地域とのつながりが少ないことから、孤立、不安感を感じさせないよう子育てに向かえる支援の在り方と地域でのサポートに取組む。</li> <li>・利用者は働いていない方や育休中の方が半数であり、仕事への復帰後も継続的な利用をしていただけるよう検討する。</li> </ul>			

## 指定管理者自己評価

A

## (1) 今年度の取組みに対する評価

## ① サービス向上に向けての取組み

- ・妊娠期には休日マタニティセミナー（両親学級）、プレネイタルミーティング（妊娠中から小児科医と話をする）を毎月実施、出産後はねんねの会（寝返り前の子どもを持つ母親の会）、利用者の要望に応えねんねの次の会を行い、小児科医、助産師、管理栄養士等専門家とのかかわりと当事者同士の育ち合いにより、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援に心掛けた。
- ・大勢の人のいる所に来られない、また小さな子どもを持つお母さんのための広場（ゆりかごの会）を権堂イーストプラザで開催し、じゃん・けん・ぼんの利用増につなげた。（12回）
- ・母親同士の育ちあいのグループづくりを目的としたNP講座は託児付きにし、講座に集中できる機会となり好評である。（2コース、12回）
- ・自然との触れ合いのできない施設の欠点を補うためと「歩育」をめざし、街路樹を見ながら権堂広場まで親子で歩く「てくてくお散歩」を取り入れ喜ばれた。

## ② 業務の効率化に対する取組み

- ・常勤スタッフが少なく、パート職員が多く意思疎通がなかなか難しい。業務のマニュアル化やシステム化の見直し等随時行っている。
- ・広場の蛍光灯の削減・・・施設内の蛍光管を1割ぐらい外し、もんぜんぶら座の電気の消費量減に努めた。
- ・講座の講師に法人所属の専門家等を活用したり、スタッフがわらべうたベビーマッサージ指導者（8人）の資格を取り、J P I C 読書アドバイザー（1人）、絵本セラピスト（3人）、公認コアキッズ体操普及員（4人）、NP認定ファシリテーター（9人）とともに活用し、謝金等を抑制した。またスタッフのネットワーク等でミニコンサートを開催する等ボランティアとの連携に心がけた（年間211回）。
- ・保険契約の更新にあたり、引き続き、全国的な子育て支援団体である「つどいの広場連絡協議会」が行っている「ひろば保険」に加入し、経費削減に努めた。
- ・内部的に必要な印刷物、館内でのお知らせの掲示物などは裏紙を使う、遊具等も空き箱、布切れ等を活用し手作りに心がけるなど、日常生活において経費削減に努めた。

## ③ その他

- ・教育機関と連携し、利用者の社会参加や事業内容の充実を図った。  
長野商業高校3年生選択科目（保育）の保育実習に、高校に訪問して参加（2日、親子11組）
- 文化学園長野専門学校との連携：ボランティア授業の一環として、1年生32名が「じゃん・けん・ぼんでボランティア」に参加し、乳幼児や保護者とふれあう機会を通じ、将来を見通したライフプランができるよう支援した。
- 長野看護専門学校現地実習の受け入れ：母性保健学講座の現地実習生を受け入れ、終了後専門的視点から見た親子の関係等意見交換を行い事業の運営に生かした。
- 清泉女学院短期大学「保育のフィールドワーク」の場として4人を受け入れた。
- ・妊娠期からの連続した子育て支援として行っている休日マタニティセミナー（長野市保健所との協働事業）のグループワークでは、遊びに来ていた父親・母親に出産・育児等の話をしてもらおうがセミナーの出席者の場合も多く、資源の循環の場ともなっている。
- ・ねんねの会では、「小さな乳児を連れ出すことに罪悪感を感じていたが、来てよかった。明日からも頑張ろうと思った」等の声が聞かれ、また、利用した母親がボランティアでねんねの会の運営にかかわるなど、母親のエンパワメントの場となっている。

## (2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・日々より質の高いサービスの提供に心掛け、利用者が安心して遊べる安全な場所の提供のため、スタッフの配置を日中多くしているので、財政的に厳しく、専門性の高い職員の正規雇用が困難である。
- ・駐車場から遠くまた有料であるといった施設の制約のある中で、いかに特色のあるサービスが提供できるかが課題である。また、アンケート調査では改善点として駐車場を上げている人が52%で、前回調査より12ポイント減となっているが、駐車料金が払える人しか来れなくなっているのが検証することが課題である。
- ・子どもが遊び慣れた身近な場所での託児が求められている。保育所の一時預かりとは競合しない短時間の託児が課題である。

## (3) 次年度以降の取組み

- ・居住年数3年未満の20～30歳代の若い核家族が、地域とのつながりが少ない中で、孤立感、不安感、負担感を感じながら一人で子育てをしている姿が伺われ、自己肯定感を持ち、子育てに向かえる支援の在り方と地域でのサポートのあり方が課題である。
- ・広場に出て来られない保護者への支援の充実。
- ・改善点として、「他者とのトラブル」や「他の保護者の利用の仕方について」をあげている人が見られる等、スタッフの利用者同士への介入が課題であり、傾聴の力量が求められるので研修に努めたい。
- ・利用者の半数は「働いている」「育休中」であり、仕事に復帰後も継続的な利用につながるよう利用者の求めている利用形態や環境等を解明し利用者増につなげる。

## 【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る